

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-143255 (P2003-143255A)
【公開日】平成 15 年 5 月 16 日 (2003.5.16)
【出願番号】特願 2002-233164 (P2002-233164)
【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 M 1/00

H 0 4 Q 7/38

【F I】

H 0 4 M 1/00 K

H 0 4 B 7/26 1 0 9 L

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 9 日 (2005.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 携帯電話の音響アラームを自動的に無効にする方法であって、
前記携帯電話が非音響制御信号を受け取ったかどうかを判定するステップと、
前記非音響モードまたは制御信号を受け取ると、前記音響アラームを自動的に無効にするステップと、
前記非音響制御信号を受け取ると、ユーザに着信を通知する非音響アラームを自動的に有効にするステップと、
を含む方法。

【請求項 2】 前記携帯電話が前記非音響制御信号を受け取っている間は前記音響アラームを無効にするステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】 前記携帯電話が、前記非音響制御信号を受け取るのを止めると、自動的に、前記音響アラームを復活させ、前記非音響アラームを無効にするステップをさらに含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】 前記音響アラームを一定の予め決められた期間だけ無効にするステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】 前記一定の予め決められた期間が経過した後で、自動的に、前記音響アラームを復活させ、前記非音響アラームを無効にするステップをさらに含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】 前記非音響制御信号を受け取ると、前記ユーザに着信を通知する点滅光を活動化するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】 前記非音響制御信号を受け取ると、前記ユーザに着信を通知する振動ユニットを活動化するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】 前記非音響制御信号をオーバーライドするステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】 前記非音響制御信号を無指向性 R F 信号として同報通信するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】 前記非音響制御信号を指向性 R F 信号として送信するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】 携帯電話の音響アラームを自動的に無効にする装置であって、

非音響モード信号を受信する受信器と、
前記受信器に結合され、ユーザに着信を通知する可聴音を発生するスピーカと、
前記スピーカに結合され、前記非音響モード信号を受信すると前記音響アラームを自動的に無効にし、前記非音響モード信号を受信すると、ユーザに着信を通知する非音響アラームを自動的に有効にするプロセッサと、
を備えている装置。

【請求項 1 2】 前記プロセッサは、前記携帯電話が前記非音響モード信号を受け取っている間は、前記音響アラームを無効にする、請求項 1 1 に記載の装置。

【請求項 1 3】 前記携帯電話が前記非音響モード信号を受信するのを止めると、前記プロセッサは、自動的に、前記音響アラームを復活させ、前記非音響アラームを無効にする、請求項 1 2 に記載の装置。

【請求項 1 4】 前記プロセッサは、一定の予め決められた期間、前記音響アラームを無効にする、請求項 1 1 に記載の装置。

【請求項 1 5】 前記一定の予め決められた期間が経過した後で、前記プロセッサは、自動的に、前記音響アラームを復活させ、前記非音響アラームを無効にする、請求項 1 4 に記載の装置。

【請求項 1 6】 前記非音響モード信号を受け取ると、前記プロセッサは、前記ユーザに着信を通知する点滅光を活動化する、請求項 1 1 に記載の装置。

【請求項 1 7】 前記非音響モード信号を受け取ると、前記プロセッサは、前記ユーザに前記着信を通知する振動ユニットを活動化する、請求項 1 1 に記載の装置。

【請求項 1 8】 前記非音響モード信号をオーバーライドするオーバーライド・スイッチをさらに備えている、請求項 1 1 に記載の装置。

【請求項 1 9】 無指向性非音響モード信号を同報通信する R F 送信器をさらに備えている、請求項 1 0 に記載の装置。

【請求項 2 0】 指向性非音響モード信号を同報通信する R F 送信器をさらに備えている、請求項 1 0 に記載の装置。

【請求項 2 1】 ページャの音響アラームを自動的に無効にする方法であって、
前記ページャが非音響モード信号を受け取ったかどうかを判定するステップと、
前記非音響モード信号を受け取ると、前記音響アラームを自動的に無効にするステップと、
前記非音響モード信号を受け取ると、ユーザに着信を通知する非音響アラームを自動的に有効にするステップと、
を含む方法。

【請求項 2 2】 ページャの音響アラームを自動的に無効にする装置であって、
非音響モード信号を受信する受信器と、
前記受信器に結合され、ユーザに着信を通知する可聴音を発生するスピーカと、
前記スピーカに結合され、前記非音響モードまたは制御信号を受信すると、前記音響アラームを自動的に無効にし、前記非音響モード信号を受信すると、ユーザに着信を通知する非音響アラームを自動的に有効にするプロセッサと、
を備えている装置。